

評価細目の第三者評価結果

1 共通項目

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

Ⅰ-1 理念・基本方針

Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。		第三者評価結果
	Ⅰ-1-(1)-① 理念が明文化されている。	Ⓐ・B・C
	Ⅰ-1-(1)-② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>「子どもの最善の利益の保障に努める」「養護と教育が一体となった質の高い保育に努める」「家庭援助や地域における子育て支援を積極的に行う」という保育の理念が明文化され、理念に基づく基本方針として、「子どもの発達に応じた保育」「子育て家庭の養育力向上のための支援」の二つを掲げ、明文化している。また、具体的な保育目標として「心身ともにのびのびと育つ元気な子」「人との関わりの中で優しく思いやりのある子」「感情豊かで表現の出来る子」の三つを掲げ、明文化している。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅰ-1-(2) 理念や基本方針が周知されている。		
	Ⅰ-1-(2)-① 理念や基本方針が職員に周知されている。	Ⓐ・B・C
	Ⅰ-1-(2)-② 理念に基本方針が利用者等に周知されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>理念や基本方針の職員周知については、年度初めの職員会議にて配付し、説明している。職員は、その文書を携帯し、意識を高めている。また、研修実施や職員会議での話し合いを通して再確認し、周知を図っている。理念や基本方針の周知を目的とした実践的テーマとして実践事例やエピソード事例を活用して職員会議等で話し合い、理解を深めている。</p> <p>利用者周知については分かりやすくイラストで表現し、玄関に掲示するとともにホームページ、各種たより掲載や入園式、各種行事参観等の機会を捉えて説明している。また、公民館等地域への資料配布、ホームページでの情報発信やCCNのテレビでの広報等を通して広く周知を図っている。</p>		
改善できる点／改善方法：		

I-2 事業計画の策定

I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第三者評価結果
	I-2-(1)-① 中・長期計画が策定されている。	Ⓐ・B・C
	I-2-(1)-② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>中・長期ニーズ動向を予測し、5ヵ年計画を策定している。民営化を引き継ぎ、3年目に入ったところであるが、その間のニーズ変遷を踏まえ、今後のニーズに対応すべく人員体制や建物施設の整備計画も含めて策定されている。</p> <p>事業計画は、中・長期計画を踏まえ、経営状況を分析し、保育・児童福祉制度動向や変化するニーズを把握し、施設の地域性や独自性を反映させて策定されている。</p>		
改善できる点/改善方法：		
I-2-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
	I-2-(2)-① 事業計画の策定が組織的に行われている。	Ⓐ・B・C
	I-2-(2)-② 事業計画が職員に周知されている。	Ⓐ・B・C
	I-2-(2)-③ 事業計画が利用者等に周知されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>計画策定にあたっては、職員会議で職員参画のもと課題分析を行い、策定している。期中に達成状況や評価を行い、次の計画に反映させている。</p> <p>計画の職員への周知については、職員に文書配布を行い、職員会議で説明して周知を図っている。</p> <p>保護者には、事業計画の要旨や行事計画について資料を配布し、保護者会等で説明を行っている。また毎月の活動についてはホームページや園だよりで周知を促している。</p>		
改善できる点/改善方法：		

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。		第三者評価結果
	I-3-(1)-① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	Ⓐ・B・C
	I-3-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	Ⓐ・B・C

<p>良い点／工夫されている点： 園長として組織全体をリードする立場から役割と責任について職員会議、園内研修や個別面談等で機会あるごとに表明し、明らかにしている。法令遵守に努め、研修会にも積極的に参加し、職員会議、園内研修を通して職員への周知を図っている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。</p>	
<p>I-3-(2)-① 質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>I-3-(2)-② 経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点： 園長は、職員の質の向上に意欲を持ち、保育の資の向上を図るべく取り組んでいる。また、運営上の課題を明確化し、改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。経営や業務の効率化と改善については、経費節約や効率的就業の有効な予算の使い方等を工夫している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 経営状況の把握

<p>Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。</p>	<p>第三者評価結果</p>
<p>Ⅱ-1-(1)-① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>Ⅱ-1-(1)-② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>Ⅱ-1-(1)-③ 外部監査が実施されている。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>

<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育関係の動向については、各種研修会への参加を通して情報収集を行い、また広報誌「保育士会だより」や「ぜんほきょう」等々の各種専門誌から情報収集し、職員に周知を図っている。地域ニーズについては、関係機関、地域団体との連携や近隣高齢者施設やちびっこ交流等で情報収集を行い、園庭開放、子育て相談等を通して地域の未就園児等のニーズの把握に努めている。職員会議での話し合いの中で、経営状況に関心を高めてもらうよう努めている。また、会計事務所による経営分析や指導監査を受けている。</p>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

Ⅱ－２ 人材の確保・養成

Ⅱ－２－（１） 人事管理の体制が整備されている。	第三者評価結果
Ⅱ－２－（１）－① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－２－（１）－② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	Ａ・Ⓑ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>目標とする保育の質を確保するために人材重視の考えのもと、基本的に正規職員の配置を基本としている。職員の採用や教育研修に力を入れており、運営開始後から現在まで職員の入れ替わりがほとんどない状況である。</p> <p>保育士チェックリストの活用や職員面接を通じてフィードバックを行い、職員の目標意識の向上に努めている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>来年度に目標管理制度を活用した人事考課制度の導入を検討しているとのことであるので、実施に向けた取り組みに期待したい。</p>	
Ⅱ－２－（２） 職員の就業状況に配慮がなされている。	
Ⅱ－２－（２）－① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－２－（２）－② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>職員の有給休暇の取得状況を定期的にチェックし、希望に応じて100%取得が実施されている。就業状況をチェックし、職員の意向を踏まえた勤務表作成に努めている。</p> <p>福利厚生センターと県共済会の両方に加入し、親睦会を実施する等職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。</p>	

改善できる点／改善方法：	
Ⅱ－２－（３） 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	
Ⅱ－２－（３）－① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－２－（３）－② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－２－（３）－③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育課程の中で研修の基本姿勢が明示されている。担当別、年齢別、経験別、各職位別等職員個々に着目した研修の年間計画が策定されている。様々な外部研修に参加し、また公開保育や園内研修が実施されている。研修後はレポートの提出や職員会議等での報告を通して職員全体に周知し、評価・見直しをして次の研修へ反映させている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
Ⅱ－２－（４） 実習生の受入れが適切に行われている。	第三者評価結果
Ⅱ－２－（４）－① 実習生の受入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取組をしている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>実習生の受け入れマニュアルを整備し、その意義や基本方針について職員会議で周知している。当園の使命として積極的な受け入れを行っており、受け入れ体制が確立している。受け入れにあたっては、窓口を設置し、養成校と連携しながら、事前のオリエンテーション、実習プログラムを作成し、それに沿った実習を行っている。実習後のカンファレンスを通して振り返りを行い、次年度の受け入れに反映させている。</p>	
改善できる点／改善方法：	

Ⅱ－３ 安全管理

Ⅱ－３－（１） 利用者の安全を確保するための取組が行われている。	第三者評価結果
Ⅱ－３－（１）－① 緊急時（事故、感染症の発生時など）における利用者の安全確保のための体制が整備されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ

Ⅱ－３－（１）－② 災害時に対する利用者の安全確保のための取組を行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－３－（１）－③ 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>子どもの安全確保のための各種マニュアルが整備されている。また、年齢別事故防止チェックリストを活用して、リスクごとの担当者を決めて点検を実施している。</p> <p>安全確保に係る各種研修の実施やヒヤリハット事例検討を通して職員の意識を高めている。保護者への周知については、メールやたより等で行っている。</p> <p>災害に備えて防災マニュアルを全職員に周知している。また、地震予測のため、緊急地震速報器を導入し、救急用品、持ち出し用品チェックリストの作成や緊急時、災害時等の訓練を定期的実施する等して災害に備えている。</p>	
改善できる点／改善方法：	

Ⅱ－４ 地域との交流と連携

Ⅱ－４－（１） 地域との関係が適切に確保されている。	第三者評価結果
Ⅱ－４－（１）－① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－４－（１）－② 事業所が有する機能を地域に還元している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－４－（１）－③ ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>年間計画に地域との交流を位置づけ、地域に向けて積極的な働きかけを行っている。子どもたちは、地域の高齢者施設、老人会や小学校との交流を行っている。また保育体験受け入れマニュアルに基づき、中・高校生の保育体験の受け入れ等様々な体験をすることにより子どもの社会性を育てている。</p> <p>地域ニーズに対応し、園庭開放、子育て相談、図書貸し出し、一時預かり等により、地域に機能を還元している。地域の幼保連絡会に参加し、情報交換を行い、また各種行事での地域の方々との交流があり、地域に根差した園であるとの印象を受けた。</p> <p>ボランティア受け入れマニュアルを整備して、受け入れを行っている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
Ⅱ－４－（２） 関係機関との連携が確保されている。	

	Ⅱ－４－（２）－① 必要な社会資源を明確にしている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－４－（２）－② 関係機関との連携が適切に行われている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>子どもの保育に関わる地域の社会資源（おさんぽマップ作成）を明確にし、関係機関（学校、公民館、ことばの教室、幼保連絡協議会、民生児童委員、自治会、老人クラブ等）との連携が密に行われている。また地域の社会資源に関する情報を“おさんぽマップ”として廊下に掲示し、周知に努めている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

Ⅱ－４－（３） 地域の福祉向上のための取組を行っている。		第三者評価結果
	Ⅱ－４－（３）－① 地域の福祉ニーズを把握している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－４－（３）－② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>地域の民生児童委員、各地域代表、幼稚園、児童センター、保育園等の連絡協議会に出席し、情報交換等を通して福祉ニーズを把握している。</p> <p>把握した地域のニーズに応じて、障がい児保育、延長保育、一時預かり、園庭開放、子育て相談、図書貸し出し等を積極的に行っている。地域の人の園見学についてはいつでも応じている。また、0才の未就園児親子を対象に親子ふれあい教室を実施している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ－１ 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ－１－（１） 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		第三者評価結果
	Ⅲ－１－（１）－① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－１－（１）－② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ

<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>子どもの人権を尊重する保育に重点を置き、「子どもの人権」「保育士倫理綱領」を事務室玄関や各クラスの見やすい位置に掲示し、全職員の意識向上に取り組んでいる。</p> <p>プライバシー保護については、マニュアルを整備し、職員に周知徹底を図っている。また、排泄時の衝立を付ける等の環境上の配慮を行い、夏はプールの回りによしずをかける等、目隠しをして配慮している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>Ⅲ－１－（２） 利用者満足の上昇に努めている。</p>	
<p>Ⅲ－１－（２）－①</p>	<p>利用者満足の上昇を意図した仕組みを整備し、取組を行っている。</p> <p style="text-align: right;">Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>行事ごとのアンケート実施、送迎時の声かけ、保育参観や懇談会等の機会を捉え、保護者の意向把握に努め、把握した保護者の意見要望を職員会議で分析・検討し、保育の質の上昇に努めている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>Ⅲ－１－（３） 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。</p>	
<p>Ⅲ－１－（３）－①</p>	<p>利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。</p> <p style="text-align: right;">Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>Ⅲ－１－（３）－②</p>	<p>苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。</p> <p style="text-align: right;">Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>Ⅲ－１－（３）－③</p>	<p>利用者からの意見等に対して迅速に対応している。</p> <p style="text-align: right;">Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>玄関や各クラス前に意見箱を設置し、苦情解決の仕組み、第三者委員や苦情相談責任者を分かりやすく明記し、掲示している。保護者が話しやすい雰囲気づくりに心がけ、送迎時には積極的に声をかけ、できるだけふれあいを多く持つよう努めている。相談場所も意見を述べやすいスペースを確保している。</p> <p>意見や苦情を受け付けた場合、保護者対応マニュアルに沿って職員会議で検討し、速やかに対応している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

Ⅲ－２ サービスの質の確保

Ⅲ－２－（１） 質の向上に向けた取組が組織的に行われている。		第三者評価結果
	Ⅲ－２－（１）－① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－２－（１）－② 評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>サービス内容については、PDC Aサイクルを継続させて定期的に保育内容を評価する体制がある。保育の質については保育士のための自己評価チェックリストを利用して自己評価を定期的に行い、職員資質の向上を進めている。保育園としての自己評価も職員会議で検討され、課題等を職員間で共有している。今回の第三者評価の受審にあたって、自己評価は全職員が記入し、作成した。それにより、職員意識の向上にもつながったとのことである。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

Ⅲ－２－（２） 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。		第三者評価結果
	Ⅲ－２－（２）－① 提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－２－（２）－② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>個々のサービスの標準的な実施方法については、個々のサービスに応じた各種マニュアルを作成し、職員周知に努めている。マニュアルの中でプライバシー保護の姿勢が明示されている。保育課程については、保護者の意向を踏まえて各担任が年齢別指導計画、障がい児個別指導計画を策定し、職員会議で子ども一人ひとりの個別指導記録から実施についての検証を行っている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅲ－２－（３） サービス実施の記録が適切に行われている。		
	Ⅲ－２－（３）－① 利用者に関するサービスの実施状況の記録が適切に行	Ⓐ・Ｂ・Ｃ

	われている。	
Ⅲ－２－（３）－②	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅲ－２－（３）－③	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>サービス実施の記録については、個別記録に子ども一人ひとりの発達状況が毎月詳細に記録されている。職員会議等を通して記録の方法の均質化に努めている。</p> <p>記録の管理体制については、個人情報保護に関するマニュアルが整備されている。</p> <p>また守秘義務の遵守については、職員会議や園内研修等で全職員に周知の徹底を図っており、全職員で共有できるようにしている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

Ⅲ－３ サービスの開始・継続

Ⅲ－３－（１）	サービス提供の開始が適切に行われている。	第三者評価結果
Ⅲ－３－（１）－①	利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅲ－３－（１）－②	サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>サービス内容や空き状況はホームページで情報発信し、入園希望者に対しては、保育理念や基本方針、入園手続き、保育内容、利用料等が記載された資料をもとに十分な説明を行っている。園の内容や子どもの活動の様子をDVDで紹介している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅲ－３－（２）	サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	
Ⅲ－３－（２）－①	事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ

<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育サービスの変更や転園に際しては、子どもの育ちの継続性に配慮した対応を行っている。就学児については、入学する小学校に保育所児童保育要録を送付し、保育修了時にその後も相談が可能であることを説明している。サービスの継続性に配慮した対応を行っている。転園児に関しては、個別記録等の書類を転園先に送付している。</p>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

Ⅲ－４ サービス実施計画の策定

Ⅲ－４－（１） 利用者のアセスメントが行われている。		第三者評価結果
	Ⅲ－４－（１）－① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>利用者のアセスメントについては、統一した様式を使用し、定められた手順に従って行っている。子ども一人ひとりのニーズを保護者との懇談会や送迎時または連絡帳などで把握している。職員会議では子どもの様子を各クラス担任からその都度説明し、全職員に周知している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅲ－４－（２） 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。		
	Ⅲ－４－（２）－① サービス実施計画を適切に策定している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－４－（２）－② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>計画の策定については、アセスメントに基づいて子ども一人ひとりのニーズや課題を明確にし、保育課程に基づき、地域性を踏まえ、園独自の方針や保護者の意向を汲み上げ、職員会議で話し合い、指導計画を作成している。指導計画は職員会議で定期的に評価分析を行い、見直しを行っている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

評価細目の第三者評価結果 (児童分野 保育所)

評価対象Ⅳ 保育所保育の基本

Ⅳ－１ 養護と教育の一体的展開

	第三者評価結果
Ⅳ－１－（１）保育所の保育の方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育課程は市の保育課程を踏まえて作成されている。地域の特徴を考慮に入れ、特に地域との結びつきの強さを大切にし、保護者会やアンケート、連絡ノート等で得られた意向や要望も織り込んで編成されている。各保育室や玄関に分かりやすく編成された保育課程が掲示してある。</p>	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－１－（２）乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	A・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>乳児保育は非該当項目である。</p>	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－１－（３）１・２歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>送迎時に連絡帳の確認や保護者から体調や生活のリズムの聞き取りを行うとともに健康観察を行っている。担任は複数であるが、一人の子どもについて一年間を通して成長を見守り、支援していけるように担当を決めている。月2回、異年齢児保育を実施し、老人クラブとの交流や実習生の受け入れ、職場体験学習を通して中学生との交流の機会がある。</p>	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－１－（４）３歳以上児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>それぞれの年齢に応じた活動計画を基に保育が行われている。保育の特徴として朝夕の戸外遊びの中で縄跳び、リレー、マラソンを行う等の体力づくりを中心にした保育を実施している。核家族が多い現在、年長児は登園すると花や野菜の水やりを行ったり、未満児クラスの布団敷き、着脱の手伝いなど小さい子に対する責任感や思いやりの心を育てている。どのクラスにもコーナーがあり、様々な手作り衝立を利用して個々の居場所を確保して心の落ち着きや安定を図っている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－１－（５）小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されている。	(A)・B・C

<p>良い点／工夫されている点： 小学校が近隣にあり、常に連携体制ができています。園長が小学校の行事に参加して交流を深め、また子どもたちは就学前に小学生とゲーム等で交流を深めている。小学校教諭との懇談会や保育所児童保育要録の提出等を通して子どもの様子が確実に小学校に伝わり、育ちの継続性に配慮している。</p>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

IV-2 環境を通して行う保育

	第三者評価結果
<p>IV-2-(1) 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。</p>	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 手作りのままごと道具やコーナーを設ける等工夫が見られる。建物の古さは否めないが、トイレなど一部リフォームが施され、暖簾をつけたりカーペットを滑り止めに敷く等の工夫が見られる。またサッシのドアには安全ストッパーをつけ、コーナーにはクッションを施して安全な環境で生活できるよう配慮している。各クラスで週に1度、年齢別事故防止チェックリストや月1回の安全点検を行っている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>IV-2-(2) 子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。</p>	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 月初めに健康教室(いわっこ)で基本的な生活習慣や態度について身につけている。遊びについては戸外遊びを優先させ、自由な遊びが十分できるようにしている。また未満児のみが園庭を使用する時間を確保することができるよう一週間の園庭の使用について工夫をしている。トイレは2,3歳児でも使いやすいように整備されている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>IV-2-(3) 子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。</p>	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 当番の子どもが職員室に入る時にはきちんと挨拶の言葉を交わし、責任を持って行動している姿が見られた。当番活動を通して年齢に合った責任感を培っている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>IV-2-(4) 子どもが主体的に身近な自然や社会とかかわれるような人的・物的環境が整備されている。</p>	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 当園の環境は自然に恵まれ、散歩コースも多くあり、自然との触れ合いは多い。老人クラブのお年寄りの方々とはなかなか経験できないしめ縄作りや花餅づくり、正月遊びでは羽子板、双六と一緒に遊ぶ等して交流を深めている。なかでも職員とお年寄りの七福神の演劇は好評とのことであった。</p>	

改善できる点／改善方法：	
IV-2-(5) 子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。	(A)・B・C
良い点／工夫されている点： 絵本は廊下の本棚に並べてあり、様々な紙芝居も揃えてあり、いつでもここで子どもは自由に選ぶことができる。また貸出図書も行っている。保護者会による人形劇観賞や英語あそびの機会もある。発表会では様々な楽器で表現する楽しさを体験し、オペレッタ等を取り入れて楽しく表現することができている。	
改善できる点／改善方法：	

IV-3 職員の資質向上

IV-3-(1) 保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。	第三者評価結果
	(A)・B・C
良い点／工夫されている点： 自己評価ガイドラインを使用し、自己評価に取り組み、月2回の職員会議での話し合いの中で意識の向上に努めている。今回の第三者評価についても全職員で自己チェックを行った。	
改善できる点／改善方法：	

評価対象V 子どもの生活と発達

V-1 生活と発達の連続性

V-1-(1) 子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。	第三者評価結果
	(A)・B・C
良い点／工夫されている点： 子どもの生活のリズムや性格に合わせて保育士同士が連携し、子ども一人ひとりに目を向け、一人ひとりを受けとめる保育ができるよう努めている。	
改善できる点／改善方法：	
V-1-(2) 障害のある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	(A)・B・C
良い点／工夫されている点： 発達相談センターやことばの教室、保健センター等と連携し情報交換を行っている。障がい児担当者を始め、多くの職員が障がい児に関する研修を受講し、保護者に対しても適切な情報や指導ができるような体制が整っている。他の子どもたちとのコミュニケーションについてもスムーズであり、障がいのある子が安全で大切にされている様子が伺える。保護者との連携も良くできている。	
改善できる点／改善方法：	
V-1-(3) 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	(A)・B・C

<p>良い点／工夫されている点： 長時間マニュアルに基づいて家庭的な雰囲気を作り、好きな遊びが楽しめるようなコーナーを設定している。また送迎時の連絡事項確認票で引き継ぎの確認をし、保護者に伝えている。子どもの人数により合流する時間を配慮している。異年齢の交流は子どもたちにとって良い刺激となっており、小さい子は大きい子との関わりの中で遊びを覚えたり、憧れを持って成長している。</p>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

V-2 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場

V-2-(1) 子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	第三者評価結果 (A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 家庭調査票で子ども一人ひとりの既往症や予防接種状況について把握している。定期的に歯科、内科、耳鼻科、眼科等の健診があり、嘱託医通信「子どもと健康」を全家庭に配付し、健康管理について保護者に関心が深まるように情報を伝えている。また子どもの健康管理は保護者の意向を大切にしながら個別に無理なく進めている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
V-2-(2) 食事を楽しむことができる工夫をしている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 食育計画に基づき園内で栽培した野菜を食材にして食べたり、ホットプレートを利用しておやきやクッキー作りに取り組んでいる。行事の際など全員で会食をしたり、バイキング方式を採る等食事の環境作りに努めている。3歳以上児のクラスでは絵カードを利用し、食材を分類して示したりしている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
V-2-(3) 乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 調理員と一緒に食事をしながら子どもたちの喫食状況を把握し、保育士と話し合いながら個別に対応を行っている。1歳児は家庭と連絡を取り、無理のない離乳食の進め方をするように配慮している。食器については献立や年齢に応じてセラミック食器とメラミン食器を使い分けている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
V-2-(4) 健康診断・歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 健康診断や歯科健診の結果については、保護者に知らせている。特に治療が必要な場合は診断結果を配付し、早期治療を促している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

V-3 健康及び安全の実施体制

V-3-(1) アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	第三者評価結果 ①・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 医師の意見書に基づき、食物アレルギーの給食対応マニュアルに沿って、担任、調理員、主任と保護者が献立表を確認し、対応している。トレイ、食器で区別し、多数の目で確認し、間違いがないように努めている。</p>	
<p>改善できる点/改善方法：</p>	
V-3-(2) 調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。	①・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 給食衛生管理マニュアル、給食マニュアルに沿って安全管理に努めている。食器の返還時等細かくチェックする等保育士も調理室の衛生管理に協力している。</p>	
<p>改善できる点/改善方法：</p>	

評価対象VI 保護者に対する支援

VI-1 家庭との緊密な連携

	第三者評価結果
VI-1-(1) 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	①・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 献立表、給食だより、週2回のサンプル展示やレシピの提供等で保護者に給食の内容や調理の仕方を紹介している。保育園で育てた野菜は調理員の協力で食材に加えたり、試食する機会を設け、子どもや保護者に知らせている。</p>	
<p>改善できる点/改善方法：</p>	
VI-1-(2) 家庭と子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行っている。	①・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 送迎時や個別懇談会等で保護者とコミュニケーションをとりながら子育てについての支援を行っている。連絡帳への記載や行事ごとにアンケートを取り、保護者の意向を把握し、保育に活かしている。行事の様子を写真やホームページに掲載し、情報提供を行っている。</p>	
<p>改善できる点/改善方法：</p>	
VI-1-(3) 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けている。	①・B・C

<p>良い点／工夫されている点： 保育参加、生活発表会、懇談会等で保護者と話し合いができる機会を多く持つようにしている。また送迎時には声かけに心がけ、小さなことでも伝え、意志疎通に心がけている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>VI-1-(4) 虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点： 虐待マニュアルが整備されている。早めに保護者の変化に気づくよう、日頃から保護者とコミュニケーションに心がけている。また身体測定や着替えの際には、子どもの心身の状態を観察しながら、早期発見に努めている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

評価対象Ⅷ 個別サービス着眼点（岐阜県独自項目）

Ⅶ-1 安全管理面でのサービス

	<p>第三者評価結果</p>
<p>Ⅶ-1-(1) 外部からの侵入に対する対応策がとられている。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点： 不審者マニュアルを作成し、毎月、不審者対応訓練を実施している。不審者情報については市の担当課から情報が入り、張り紙をしたり、メール配信で保護者に呼びかける体制ができている。また毎年、県警本部の「たんぼぼ班」に依頼して連れ去り防止訓練を行っている。園周辺には農協やスタンドがあり、周囲の目が行き届いているので安全な面もあるが、一方でかなりの交通量があり、また道路から見える場合もあるので注意を払っている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

Ⅶ-2 保護者とのコミュニケーション

	<p>第三者評価結果</p>
<p>Ⅶ-2-(1) 保護者の保育参加を促すような工夫をしている。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点： 入園時に一年の参観スケジュールや行事予定を説明している。参観日には子どもたちの様子をビデオに撮って見てもらっている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>Ⅶ-2-(2) 保護者会組織等への活動の援助や意見交換を行っている。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点： 年6回行われる保護者会役員会には施設の提供や託児の支援を行い、主任が出席し、相談、助言を行っている。子どもたちへの保護者会からのプレゼント選びでは職員と相談して決めている。保護者会参加の行事にはアンケートを実施し、保護者の意見を取り入れている。</p>	

改善できる点／改善方法：

Ⅶ－３ 保育所・幼稚園・小学校との連携

	第三者評価結果
Ⅶ－３－（１） 保育所・幼稚園・小学校との連携した取組を行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
良い点／工夫されている点： 幼保小連絡協議会に出席し、授業の参観をしたり、意見交流を行っている。また園長や校長はお互いに行事に参加し交流を図っている。入学に備えての年長児の小学校訪問や小学校教諭と年長担任との懇談が行われている。	
改善できる点／改善方法：	